

全小中学校にタブレット端末を導入



楽しくてわかりやすい授業へ
ICT教育を推進

区では、児童・生徒の興味や意欲を引き出し、わかりやすい授業づくりを推進するため、10月までに全小中学校へ無線LAN環境を整備し、タブレット端末を順次導入します(各校86台)。確かな学力の向上を目指し、ICT教育の充実を図ります。

☎ [ICT環境の整備に関すること] 学務課 学校経理係 ☎3647-9176、FAX3647-9053
 [ICT教育に関すること] 指導室 ☎3647-9179、FAX3647-6505

▲真剣な表情でタブレット端末を操作する児童たち(写真は毛利小学校)

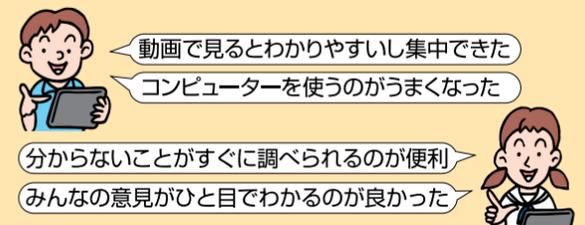
ICT教育とは?

ICT教育とはインターネットなどの情報通信技術 (Information and Communication Technology) を活用した教育のことです。ICTは年々社会に浸透し、今後も発展していくと考えられているため、教育においても積極的に活用していくことが求められています。区ではこれまで、コンピューター教室の整備や電子黒板の配置、校内有線LAN環境の整備を推進してきました。平成26年9月～平成28年8月には、小・中学校各1校で無線LAN環境とタブレット端末を利用したモデル事業を行い、ICT機器の導入がわかりやすい授業づくり等に有効であることを確認しました。

どのような効果があるの?

- 視覚的にわかりやすい授業を行うことができる
- 1人ひとりの状況に応じた指導をすることができる
- 学習に対する意欲や、ICTスキルの向上につながる
- 主体的に探究していく際の手段が広がるなどの効果が挙げられます。

授業を受けた児童・生徒の感想



どのように活用されるの?

モデル事業では「のこぎりの使い方を、動画を確認しながら作業して学ぶ(技術)」「静止画を撮影し、コマ送りにしてアニメーションを作成する(総合的な学習)」「タブレット端末で江戸時代と明治時代の絵を見比べて違いを意見交換する(社会)」などの形で活用されました。導入後はさまざまな場面での活用が見込まれます。また、授業での活用を促進するため、ICT支援員が各学校を巡回し、教員への指導や授業の補助を行います。

【タブレット端末を活用した授業の様子(数学)】

※深川第七中学校の授業



- ①教員が数式を用いたタブレットの手品を見せ、その動画を撮影する
- ②班ごとに動画を見ながら手品を実践し、話し合ってタネを解き明かす
- ③各班の解答を電子黒板に映し出し、みんなの意見を共有しながら数学的な理解を深める

本区防災センターの火災について
 去る8月26日午前6時頃に、本区防災センターにおいて火災が発生いたしました。この火災に際しまして、近隣の方々をはじめ、区民の皆様、関係機関の皆様など多くの方々に多大なご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。
 本区といたしましては、今回の事態を重く受け止め、今後、より一層安全管理を徹底し、再発防止に努めるとともに防災体制の強化に尽力してまいります。
 平成29年9月11日 江東区長 山崎孝明